

DMOC-発災ゼロ時からの医療支援

災害医療作戦指令センター (DMOC) システム-発災ゼロ時からの被災地内医療情報伝達システム

北九州市立八幡病院
 災害医療研修センター (DMEC) センター長
 災害医療作戦指令センター (DMOC) センター長

伊藤 重彦

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

派遣医療チームのジレンマ

- 所詮、被災地外の医療チーム
- 被災地の知識は、ほとんどない
- 指示なしの自主活動は、不可能
- 現地の要請指示がないと動けない
- 発生直後からの支援は困難



必要な情報と指揮・システム次第

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

被災地内医療チームの不安

- 発災ゼロ時から活動開始できる
- 被災地内の人的医療資源と
- 被災地内の物的医療支援を最大限に利用しながら、一定期間持ちこたえる必要がある



必要な情報と指揮・システム次第

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

👉 発災直後の混乱した時期では、医療支援に必要な情報収集には限界がある

- ・被災地内支援活動の善し悪しは
 = 現地対策本部のロジスティック (LOGISTIC) 機能のレベル次第
- ・優秀なチームが、烏合の衆となるかどうかは、必要な情報があるかどうか

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

- ・関係機関が情報を共有できる通信回路 (情報を分け合うシステム) があること
- ・的確な指揮下で、指示要請・実施指示ができること



ポイントは

情報

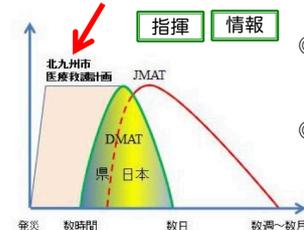
指揮

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

北九州市医師会災害医療救護計画

発災ゼロ時からの対応



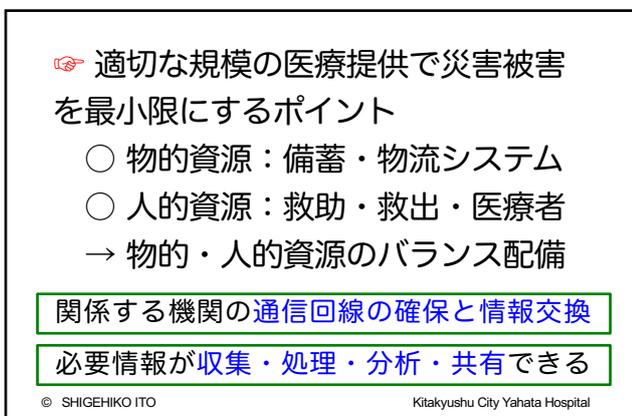
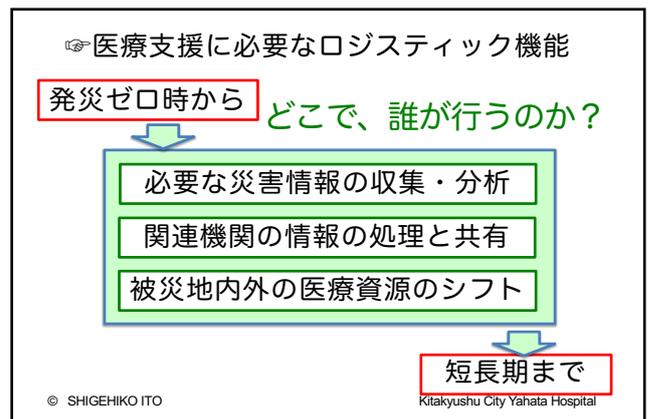
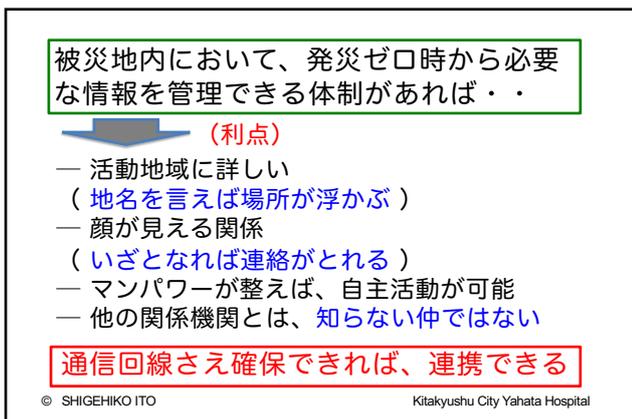
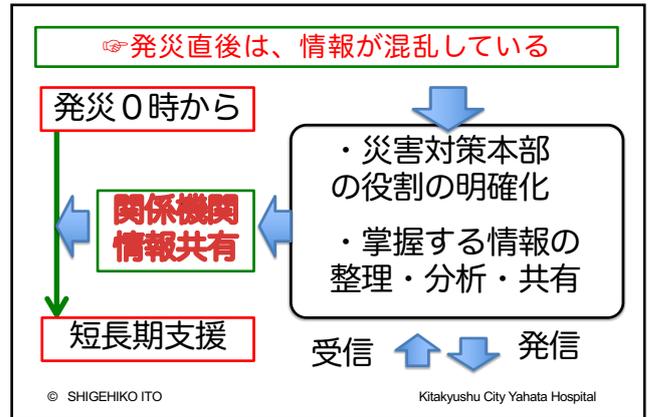
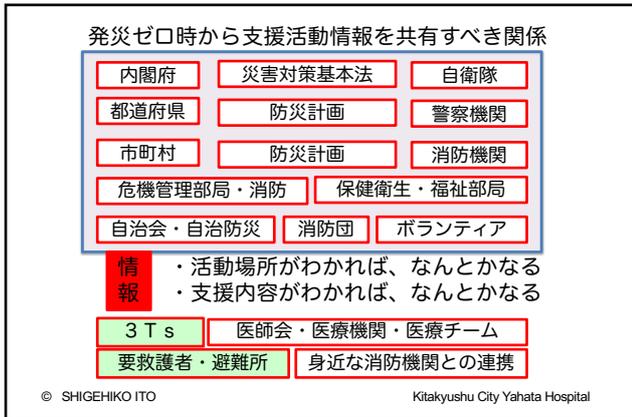
- ◎ 支援目的
 - ・災害現場・病院・避難所
- ◎ 指揮命令
 - ・インシデントコマンドシステム (ICS) の導入
- ◎ 機関連携
 - ・情報共有システムの構築

2016.4月スタート

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

DMOC-発災ゼロ時からの医療支援



DMOC-発災ゼロ時からの医療支援

◎災害情報
Disaster Intelligence/Disaster Information

Information
→加工されていない生情報
→見ただけでは行動できないデータ

Intelligence
→意思決定のためにインフォメーションを加工、分析してえられたもの
→見ただけで行動できるデータ

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

☞ **情報収集力**とは、発信者からのInformationをIntelligenceに近い形で情報整理できる能力

- ・発信者の見たまま・聞いたままの情報
- ・必要な情報をまとめていない内容

↓ **Informationの加工**

- ・判断・指示に利用できる情報を聞き出す
- ・必要な項目に関する発言を誘導できる

↓ **Intelligenceに整理**

- ・迅速な判断と指示の下に、医療支援を行う

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

災害現場・本部指揮系が混乱する理由

- ・責任者に報告が集中
- ・担当者に判断・指示する権限がない
- ・種類の異なる複数の情報を、複数の担当者がルールなく受信する（処理ミス、処理停滞）
- ・どの機関の指示情報かわからない（指示ミス）

- 関係機関で情報共有する回線がない
- 関係機関の通信手段の互換性がない
- 関係機関で用いる専門用語が違う
- 関係機関で災害対応の目的が違う

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

☞ 災害対策・指揮本部

- ・種々の要請・依頼情報を、確実に処理
- ・種々の指示・判断情報を、確実に発信



☞ 情報の《収集・処理・分析》組織は別立てとする

- ・同じ種類の情報（要請）は、同じスタッフが受信
- ・同じ種類の情報（指示）は、同じスタッフが発信

→ 情報内容で、受信・発信の担当は固定する

→ **要請→処理→指示の執行のプロセスの可視化**

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

ICS(Incident Command System)

どの規模の危機、どの原因で発生した危機であっても、ハザードに係なく一元的・包括的に危機対応できる柔軟性のある組織運営

調整機能 (command)

- 事案処理 (operation)
- 情報作戦 (planning)
- 資源管理 (logistics)
- 庶務財務 (finance)

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

 連絡する相手は、いつも同じ

DMOC

連携する機関・団体

避難所班

⇔

医師会 避難所班/JMAT

避難所への医師・薬剤師派遣

拠点病院班

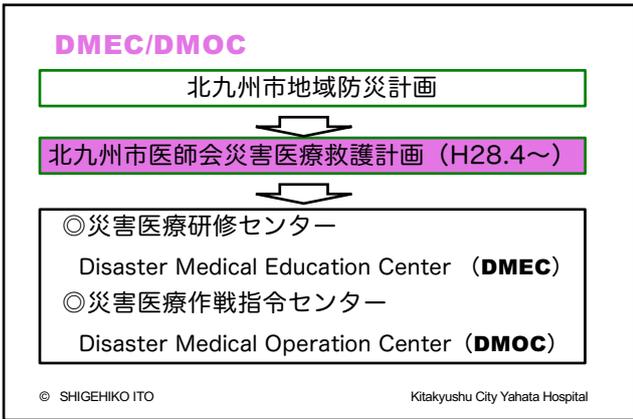
⇔

拠点病院 ロジ・事務局

傷病者受入れやベッド確保

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

DMOC-発災ゼロ時からの医療支援



災害医療研修センター (DMEC) 設置の経緯

開設：2011年 (平成23年) 10月
 目的：医療情報の一元管理、医療支援者養成
 ：被災地内資源による急性期医療支援

☞災害急性期の被災地内医療支援システム (北九州モデル) の構築

⇒DMOC設置へ続く

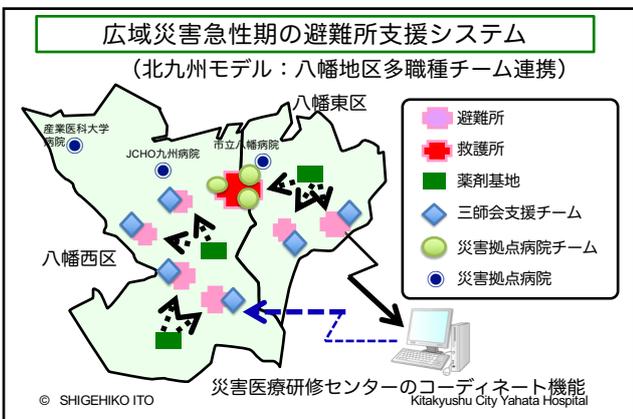
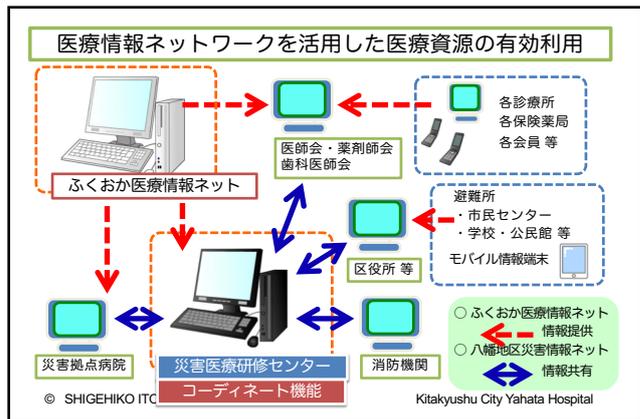
© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

☞災害急性期の被災地内医療支援システム (北九州モデル) の構築

- ・被災地内関係機関^{※1}の連携
- ・情報伝達ツールの開発
- ・災害時医療支援のための連携訓練
- ・災害発生時の医療支援の運営母体

※1 医師会、薬剤師会、歯科医師会、看護協会、行政機関 (区役所、消防、保健福祉等)

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

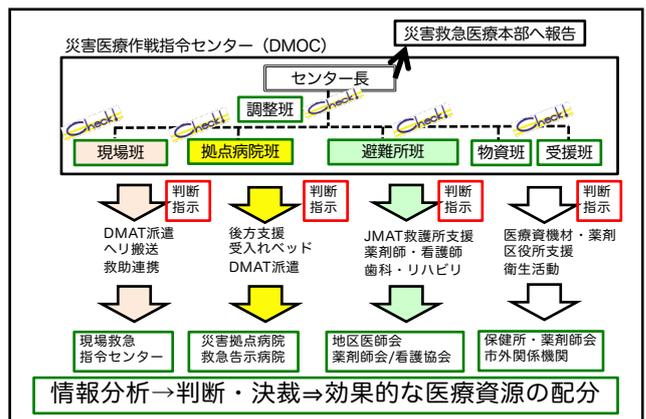
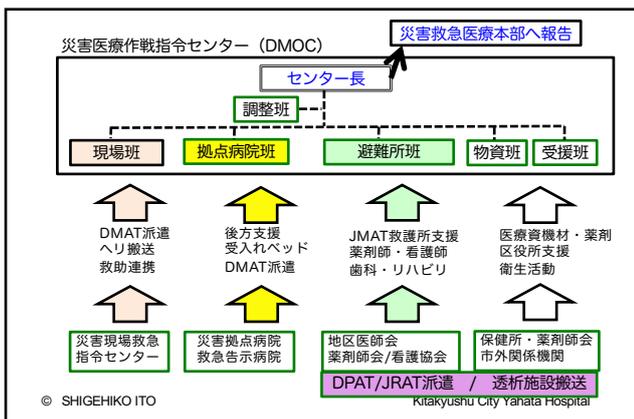
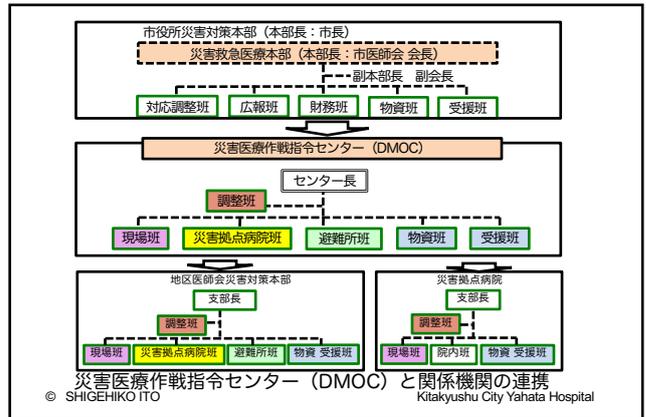
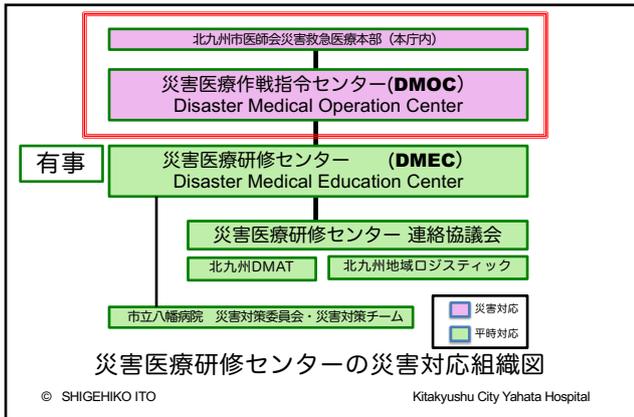


多職種医療チームによる避難所支援

- 医師・看護職員 (診療所)
→巡回診療、外傷治療
- 薬剤師
→薬剤の調達 (拠点化)
・ジェネリック処方対応
- 歯科医師
→口腔ケア、嘔み合わせ調整

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital24

DMOC-発災ゼロ時からの医療支援



(シナリオ) ○○区役所の地域に△×避難所が開設された。けが人や急病人がいるかもしれない。医師・看護師等チームに避難所支援を要請する。

要請 →医療支援チームによる△×避難所支援
指示 →組織した医療支援チームの避難所派遣

- 区役所の要望は、どこに連絡しますか
- 医療従事者の派遣を、誰が実行しますか
- どうやって、JMAT隊員を組織しますか
- 刻々変わる支援場所を誰が伝えますか

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

このミッションを解決するための関係機関

区役所	医師会
保健衛生部局	薬剤師会
消防機関	看護協会
避難所	拠点病院

© SHIGEHICO ITO Kitakyushu City Yahata Hospital

DMOC-発災ゼロ時からの医療支援

